

漢検にチャレンジ!

2018年度第1回検定の問題の一部です。
もっと挑戦したい人は漢検ホームページへ!

漢検 問題例 検索

8級 答え (一) あんしん (二) 1/意 2/委
9級 答え (一) 1/店 2/広
10級 答え ① 1/5 2/6

8級 3年生が終わるまでに習う漢字

(一) つぎの——線の漢字の読みがなを——線の右に書きなさい。
合かくの知らせを聞いて安心する。

(二) つぎの () の中に漢字を書きなさい。
みんなの () 見て学級の係を決める。

図書 () 員会のメンバーがかわった。

9級 2年生が終わるまでに習う漢字

(一) れいのようにおなじなかなまの漢字を () のなかにかきなさい。

(れい) 木 () 村人・山林 ()

1 広 () 先 () 場 ()

10級 1年生が終わるまでに習う漢字

① つぎのかん字のふといところはなんばんめにかきますか。
○のなかにすつ字をかきなさい。

1 石 () 2 竹 ()

5級 答え (一) なみき (二) 1/イ 2/ウ
6級 答え (一) 絶える (二) 枝
7級 答え (一) 1/積 2/種 3/秒

5級 6年生が終わるまでに習う漢字

(一) 次の——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
新緑のポプラ並木を写真にとる。

(二) 漢字の読みには音と訓があります。
次の熟語の読みは () の中どの組み合わせになっていますか。ア〜エの記号で答えなさい。

1 派手 2 巻物

ア音と音 イ音と訓 ウ訓と訓 エ訓と音

6級 5年生が終わるまでに習う漢字

(一) 次の——線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で書きなさい。

(例) 投 ボールをナゲル。 投げる

(絶) 夜は人通りがタエル。

(二) 次の——線のカタカナを漢字になおしなさい。
桜のエダに小鳥がとまっている。

7級 4年生が終わるまでに習う漢字

(一) 次の部首のなかまの漢字で () にあてはまる漢字一字を、答えのらんにかきなさい。

(例) イ (にんべん)
体力・工作

禾 (のぎへん)

面 1 () 2 類 () 3 速 ()

保護者のみなさまへ

漢検とは、漢字能力を測定する技能検定です。「漢字を読む」「漢字を書く」ための知識量だけでなく、漢字の意味を理解し文章の中で適切に使いこなす能力も測ります。特に10〜5級は文部科学省の学習指導要領に準じており、10級は小学校1年生修了程度、など級と学年が対応しているので、学年を目安に受検級を選ぶこともできます。

級	レベル・対象漢字数	合格基準	検定時間	検定料 (税込)
2級	高校卒業・大学一般程度 (2,136字)	200点満点 80%程度	各60分	3,500円
準2級	高校在学程度 (1,940字)	200点満点 70%程度		2,500円
3級	中学校卒業程度 (1,607字)	200点満点 70%程度		2,500円
4級	中学校在学程度 (1,322字)	200点満点 70%程度		2,500円
5級	小学校6年生修了程度 (1,006字)	200点満点 70%程度		2,000円
6級	小学校5年生修了程度 (825字)	200点満点 70%程度		2,000円
7級	小学校4年生修了程度 (640字)	200点満点 70%程度		2,000円
8級	小学校3年生修了程度 (440字)	150点満点 80%程度	各40分	1,500円
9級	小学校2年生修了程度 (240字)	150点満点 80%程度		1,500円
10級	小学校1年生修了程度 (80字)	150点満点 80%程度		1,500円

採点基準 (最終改定:平成25年4月1日)

- 採点の対象**
筆画を正しく、明確に書かれた字を採点の対象とし、くずした字や、乱雑に書かれた字は採点の対象外とする。
- 字種・字体**
①2〜10級の解答は、内閣告示「常用漢字表」(平成22年)による。
ただし、旧字体での解答は正答とは認めない。
②1級および準1級の解答は、『漢検要覧 1/準1級対応』(公益財団法人日本漢字能力検定協会発行)に示す「標準字体」「許容字体」「旧字体一覧表」による。
- 読み**
①2〜10級の解答は、内閣告示「常用漢字表」(平成22年)による。
②1級および準1級の解答には、①の規定は適用しない。
- 仮名遣い**
仮名遣いは、内閣告示「現代仮名遣い」による。
- 送り仮名**
送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」による。
- 部首**
部首は、『漢検要覧 2〜10級対応』(公益財団法人日本漢字能力検定協会発行)収録の「部首一覧表と部首別の常用漢字」による。
- 筆順**
筆順の原則は、文部省編「筆順指導の手びき」(昭和33年)による。常用漢字一字一字の筆順は、『漢検要覧 2〜10級対応』収録の「常用漢字の筆順一覧」による。
- 合格基準**
1級/準1級/2級は200点満点、80%程度で合格。
準2級/3級/4級/5級/6級/7級は200点満点、70%程度で合格。
8級/9級/10級は150点満点、80%程度で合格。
※部首、筆順は『漢検 漢字学習ステップ』など公益財団法人日本漢字能力検定協会発行図書でも参照できます。

漢検合格という自信が、学ぶ意欲につながる

漢字の勉強はこつこつ続けることが大切ですが、小学生が自主的に続けることはなかなか難しいのではないのでしょうか。漢検は「合格」という目標がやる気につながり、達成すればその努力が「賞状」というわかりやすい形で客観的に証明されます。客観的に評価されることが学ぶことへの自信につながり、国語をはじめ様々な勉強への足がかりになります。



※イメージ

復習に役立つ検定結果資料

合格・不合格を問わず「検定結果通知」を発行します。復習にお役立てください。

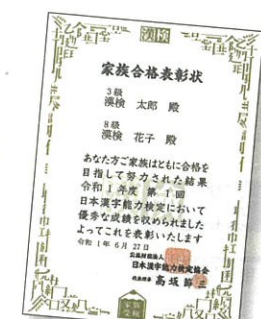


※画像はイメージです。
お届けする資料と異なる場合があります。

- ①得点**
今の実力がわかり、次のステップまでの指標が立てやすくなります。
- ②全答案の正解・不正解**
1問ごとの結果がわかるため、間違った問題を自分で確認・復習できます。
- ③達成度グラフ**
各分野の達成度が一目わかります。「あなた・合格者の平均正解率」の他に、同年齢受検者の平均正解率が入ります。
- ④今後役立つアドバイス**
苦手分野克服のための学習方法を紹介しているため、受検後の学習に役立ち、効率よく次のステップに踏み出せます。

家族受検表彰制度

家族で受検し合格した場合、個別の合格証書に加えて「家族合格表彰状」をお送りします。親子、兄弟、祖父母と孫、夫婦など、家族や親族であれば申請対象になります。



※イメージ

※検定結果資料到着後に申請が必要です。
※表彰状はその回の検定において一家族1枚のみ発行します。
※個人受検と団体受検(漢検CBT含む)でそれぞれ合格された方を一緒に申請することもできます。

準会場用 漢検 申込用紙は次のページです。

Q 答えを書くときに、どんなことに注意しなければなりませんか?

A 漢字を書くときは、はていねいにはつきりと書いてください。くずした字やぎつな字は答えとしてみとめられません。教科書の字(手書きの字に近い)とされるを、手本にして、はねるところとめるところなどもはつきり書きましよう。とくに次の点に注意してください。

- ① 画数を正しく書く
(れい) 球 () 球 ()
- ② 字のはね組みを正しく書く
(れい) 消 () 消 ()
- ③ つき出るところ、つき出ないところを正しく書く
(れい) 急 () 急 ()
- ④ 字の組み立てを正しく書く
(れい) 整 () 整 ()
- ⑤ 一画ずついねいに書く
(れい) 次 () 次 ()
- ⑥ よくにている、べつの字(または字の二部)と区別がつくように書く
(れい) 未 / 末

また、ひらがなを書くときも、はていねいにはつきりと書いてください。とくに次の点に注意してください。

- ① バランスがくずれると区別がつきにくくなる字は、区別がつくように書く
(れい) い / り か / や く / し て / へ ゆ / わ い / こ
- ② 小さい「ヤ」「ヨ」「ユ」は、小さく右に寄せて書く
- ③ 濁点「・」や半濁点「゜」をはつきり書く